

泊発電所における中長期対策等の実施状況

青字：実施状況または時期を更新した対策

電源の確保の対策

①支持がいしの耐震対策

泊発電所につながる送電線のうち「支持がいし」が設置された鉄塔 4 基について、耐震対策を対応済み。(平成 23 年 9 月)

②移動発電機車の追加配備

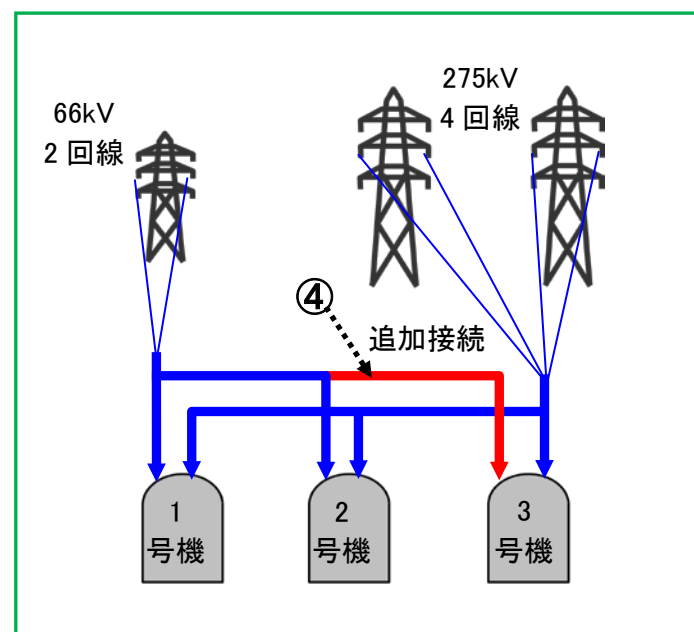
1, 600kW の移動発電機車 1 台を追加配備する。
 (「平成 24 年度上期を目途」から「平成 24 年 6 月を目途」に前倒し)

③電気設備の浸水対策

1, 2 号機予備変圧器および 66kV 開閉所を高台へ移設する。また、3 号機の「非常用所内高圧母線」へ供給している電力を、1, 2 号機の「非常用所内高圧母線」へ給電するための新たなケーブルを施設する。(平成 27 年度上期を目途)

④発電所外部からの電力供給信頼向上

3 号機にも 66kV 送電線を接続する。
 (平成 27 年度上期を目途)



⑤非常用発電機の配備

非常用発電機を高台に配備する。(詳細検討中)

冷却機能確保の対策

⑥代替海水取水ポンプの確保 (送水車)

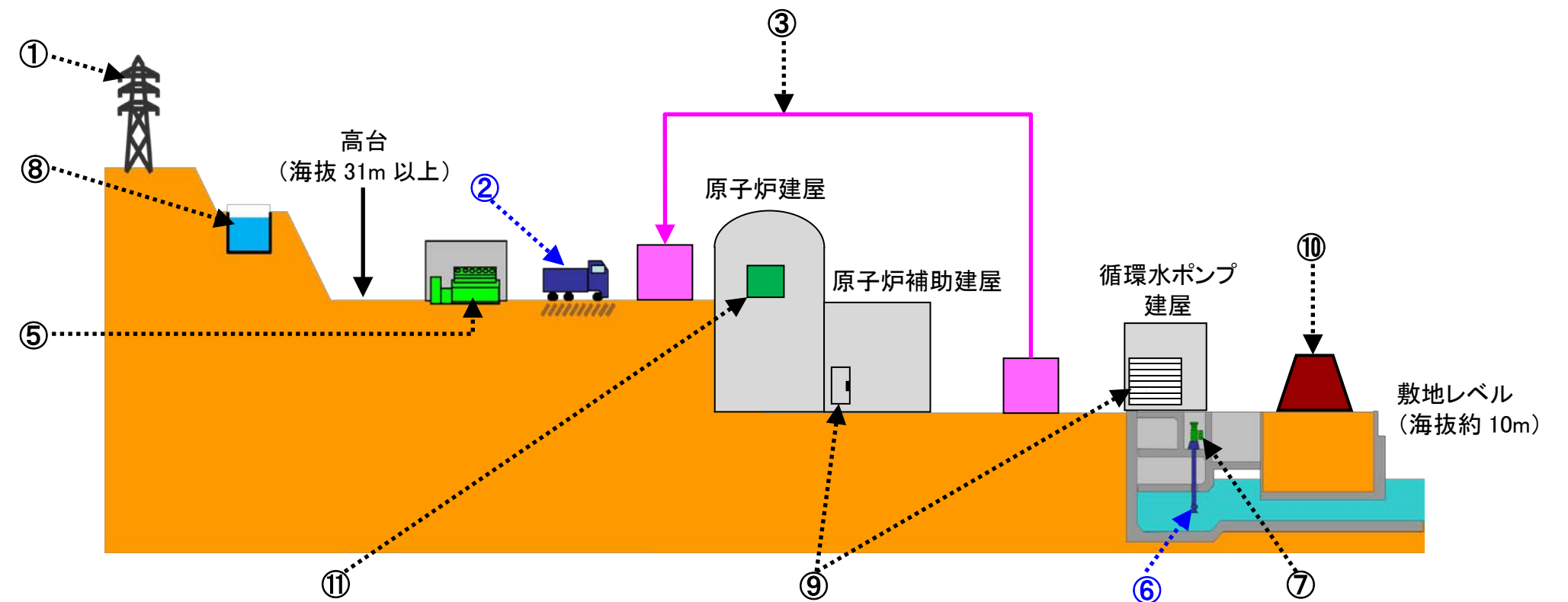
1, 320m³/h の代替海水取水ポンプ 1 台を確保する。(1~3 号機共用) ⇒参考資料 (2/3) 参照
 (「平成 24 年度上期を目途」から「平成 24 年 9 月を目途」へ対策時期を具体化)

⑦海水ポンプ電動機予備機の確保

海水ポンプ電動機の予備機を確保する。(1, 2 号機用 2 台、3 号機用 2 台) (平成 24 年度上期を目途)

⑧発電所後背地高台への新規貯水設備の設置

12, 000m³ 程度の淡水を貯蔵することができる新規貯水設備を発電所後背地の高台に設置する。(平成 26 年度を目途)



浸水防止対策

⑨安全上重要な設備が設置されたエリアの浸水対策

水密性の高い扉への改造、建屋出入口周辺の防潮壁などによる浸水対策の強化について検討し、対策を実施する。(平成 25 年度を目途)

・ 1~3 号機出入管理建屋の浸水対策を実施済み。(平成 23 年 10 月)

水密性の高い扉に改造 ⇒参考資料 (3/3) 参照

⑩敷地海岸部への防潮堤の設置

高さ海拔 15m 以上の防潮堤を敷地海岸部の全長約 1.7km にわたり設置する。(平成 26 年度を目途)

ボーリング調査終了、4 月頃から測量等の現地作業開始、8 月からは本格工事開始予定。

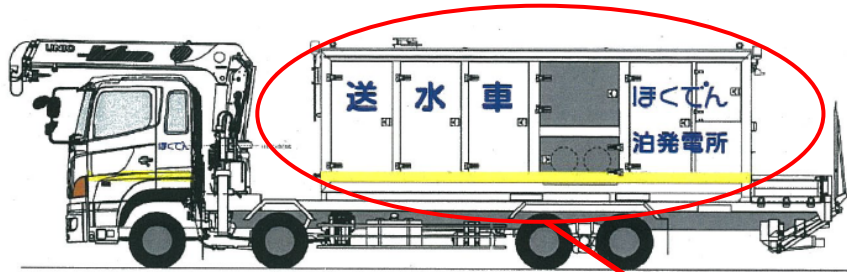
その他の対策

⑪水素爆発防止対策

原子炉格納容器内に触媒式水素再結合装置などを設置する。

(平成 25 年度を目途)

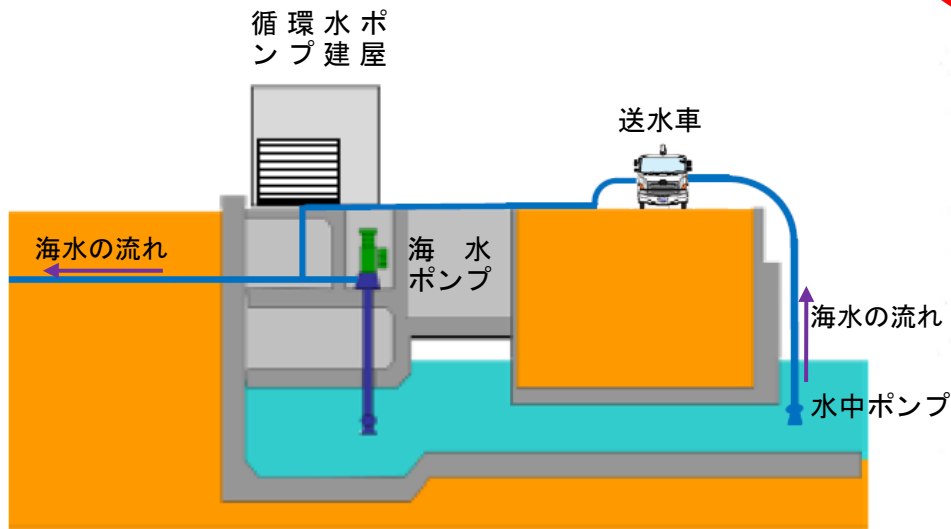
泊発電所における中長期対策等の実施状況
(代替海水取水ポンプ)



海水取水ポンプ仕様

駆動源：900kWディーゼルエンジン
容量：1320m³/h
吐出圧：1.2MPa

ディーゼル油圧駆動
ポンプユニット本体



<代替海水取水イメージ>

泊発電所における中長期対策等の実施状況
(1/2号機出入管理建屋(管理事務所), 3号機出入管理建屋の浸水対策状況)

【1/2号機出入管理建屋(管理事務所)入口】



水密扉：
(幅)約1.8m×(高さ)約2m×(厚さ)約0.21m

【3号機出入管理建屋入口】



水密扉：
(幅)約3m×(高さ)約2.6m×(厚さ)約0.26m